

交通に関するこれまでの振り返り

- (1)長町・歩いて楽しい街並みの将来像(ビジョン) [R5]
- (2)道路空間社会実験[R6]
- (3)賑わい創出社会実験[R7]

(1)長町・歩いて楽しい街並みの将来像(ビジョン)

旧国道4号沿道周辺(長町商店街エリア)の現状(将来ビジョンP6)

③交通

エリア内には、JR東北本線の長町駅、仙台市地下鉄南北線の長町駅と長町一丁目駅があり、地下鉄とJR等在来線が結節し、本市中心部等からのアクセスも良好です。長町駅がバス路線との結節駅となっていることから、太白区内各地からのアクセスも良好です。また、長町地区内は平坦な地形で高低差が少ないこともあり、高齢者でも自転車で移動する人が多くみられます。

旧国道4号沿道周辺(長町商店街エリア)の現状における課題(将来ビジョンP9)

①狭い歩行空間

長町商店街エリアの旧国道4号は、特に地下鉄長町駅の北側出入口から地下鉄長町一丁目駅周辺にかけて歩道が狭く、**自転車利用者も歩道を通ることが多い**ため、歩行者が歩きにくさだけでなく安全性に不安を感じていることから、安全安心で歩きやすい歩道空間とすることが必要です。



将来イメージ・今後の検討の方向性(将来ビジョンP11～15)

目指す
通りの姿

歩いて楽しい 賑わいと交流が生まれる人中心の街並み

- 歩道拡幅のための車線減少など、**安全安心で歩きやすい歩道空間創出**の検討を進めます。
- 自転車専用レーンや交差点の改良など、**歩行者、自転車、自動車の動線分離**の検討を進めます。
- 誰もが安心して通行できるよう、**歩道空間のバリアフリー化**の検討を進めます。
- 歩道へのベンチやテーブル、植栽の設置など、**くつろぎの空間創出**について検討を進めます。
- 歩道空間やパークレット、空き店舗・空き地において、仮設店舗の設置やキッチンカーの活用などによる**賑わいの創出**について検討を進めます。

(1)長町・歩いて楽しい街並みの将来像(ビジョン)

ロードマップ(将来ビジョンP18)



- ・ 道路空間整備等のハード面については、3年間の前半で、ゾーンごとの整備イメージを基本計画にまとめ、後半で整備に向けた設計等を行います。
- ・ 令和9年度以降は、ハード面について段階的に整備を進めるほか、店舗の新規開業促進及び民間主導による街並みの管理運営体制への移行に向けて取組みを進めます。

本将来像(ビジョン)の具体化に向けて(将来ビジョンP18)

また、街並みづくりにおいては、長期的、段階的な取組みを要し、課題の解決に向けて、実験・検証を繰り返し、幅広い市民の意見を伺い、関係者と協議を進める中で、実行可能なものから取り組んでいくとともに、街並みを巡る状況の変化等に応じて柔軟に対応していく必要があります。

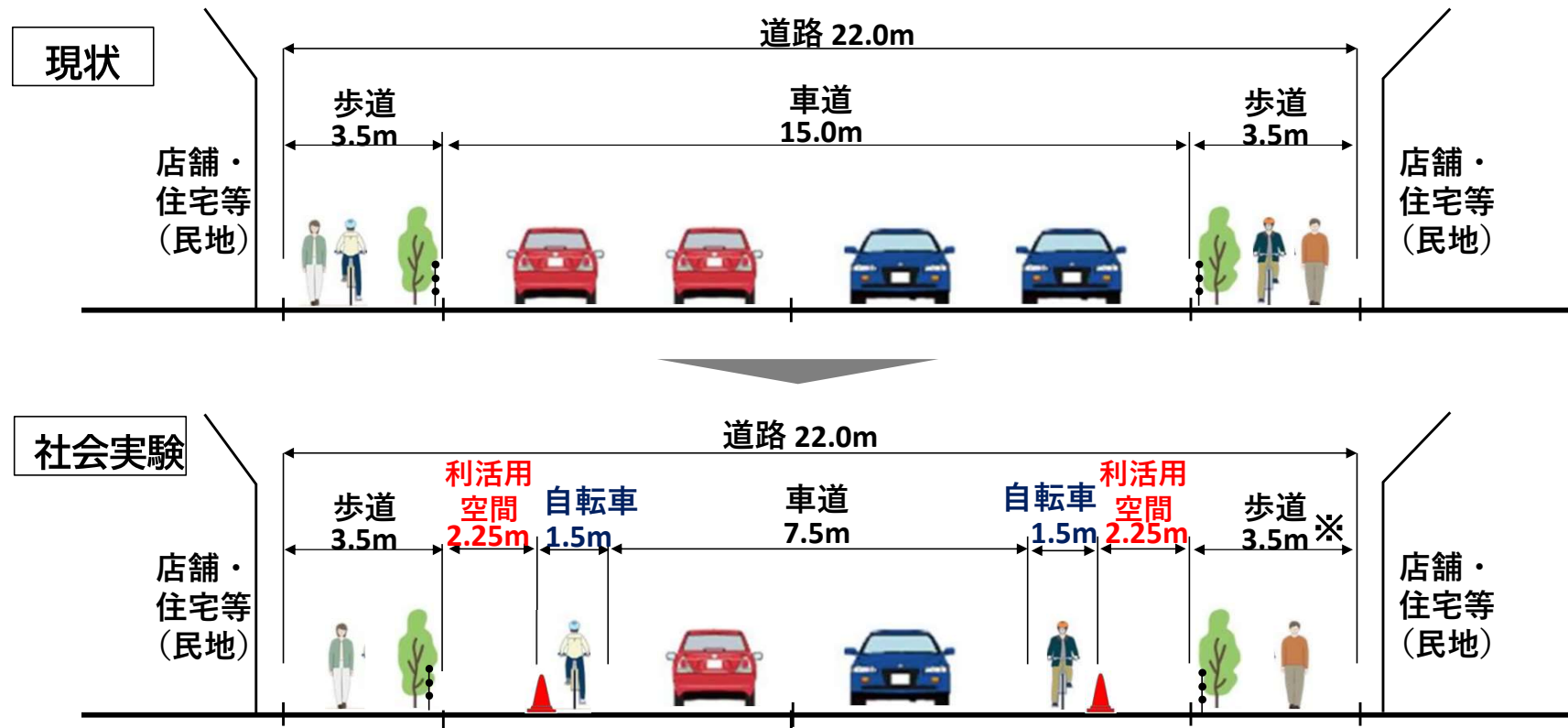
(2)道路空間社会実験

交通WGでの検討

目指す通りの姿「歩いて楽しい 賑わいと交流が生まれる人中心の街並み」の実現に向けて、まずは(1)利活用空間創出と(2)歩行環境向上のために2車線化・自転車空間設置案をベースに社会実験を行う。

社会実験の概要

車道を4車線から2車線に規制し、交通状況の変化や道路空間利活用の可能性等を把握・検証する社会実験を、令和6年11月29日(金)～12月1日(日)の期間に実施した。



※車道は現状の区画線の変更は行わず、中央の2車線を走行空間とする。 ※長町駅前約9m

※交差点部の右折レーンは現状のままとする。

※歩道上にある植栽や地上器、ガードパイプ等の移設は行わない。

※バス停・タクシープール部分は現状のままとする(歩道幅は減少)。

(2)道路空間社会実験

社会実験の結果

交通量・渋滞の課題

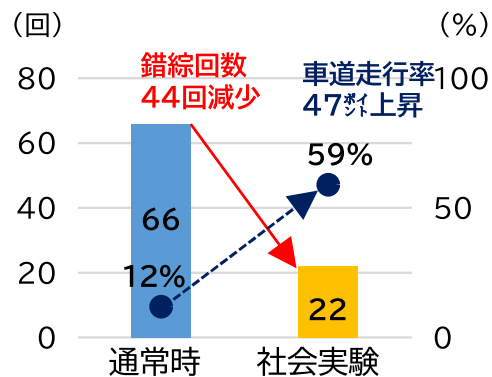
- 社会実験に伴う4車線から2車線への車線規制に当たり、事前周知や広報等を実施したが、当該道路の車両交通量は減少したものの、大幅な減少には至らず、特に初日平日の朝に渋滞が発生した。

▶ **交通量・渋滞の課題に対して
交通シミュレーションの実施**

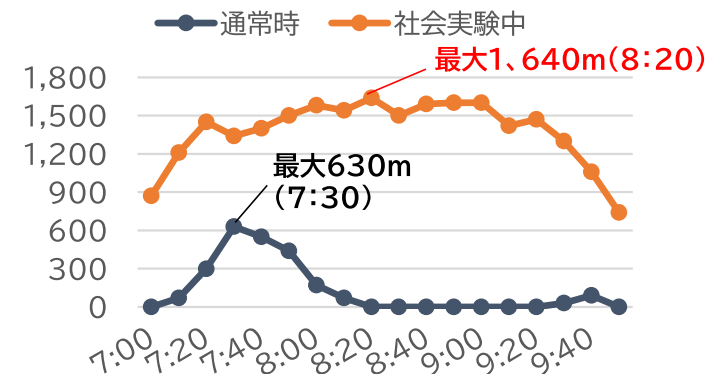
歩行者の安全性向上

- 自転車と歩行者の動線を分離したことにより、自転車の車道走行率が上昇するとともに、歩行者・自転車の錯綜回数が減少し、歩行者の安全性が向上した。

長町一丁目駅前(休日)の 車道走行率と錯綜回数



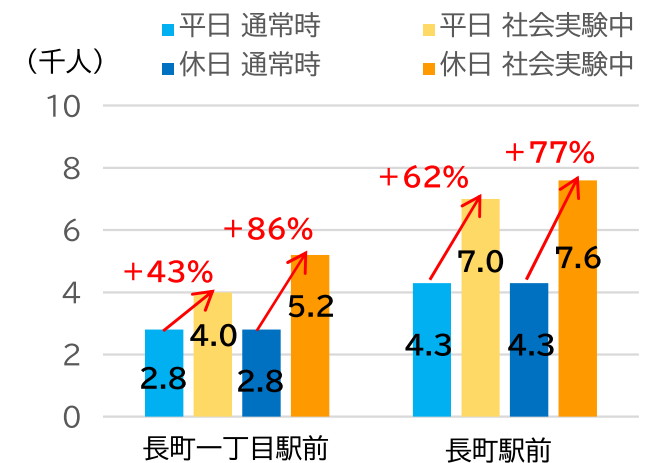
広瀬橋交差点の南西側流入方向の渋滞長の推移



賑わいの創出

- 公共空間への利活用コンテンツ設置等により、歩行者通行量が増加したことに加え、各エリアの満足度も高く、賑わいの創出への効果がみられた。

歩行者通行量



(3)賑わい創出社会実験

社会実験の概要

長町商店街エリアにおける既存の公共空間(公園・歩道等)を舞台に、一般公募した様々な「長町でやりたいこと」を実現してもらう社会実験を、令和7年8月29日(金)～10月5日(日)の期間に実施した。

募集概要

- ・ 長町地域の活性化や回遊性の促進、滞在性の向上、賑わいの創出につながる様々な企画等を募集。
- ・ 参加資格は、社会実験の目的及び公共性・公益性を理解し、長町地域の賑わい創出に寄与できる団体又は個人
- ・ 道路使用許可や公園使用許可等の許可申請は事務局で行い、許可申請に伴う占用料・使用料等は本実施期間に限り、無料。

- ◆ 募集期間17日間に計33件の企画が応募。
- ◆ イベントや飲食ほか、音楽やコミュニティづくりなど計29件の企画が実現。

実施状況



ドッグラン企画(長町駅西口広場)



キッズハロウィン企画(リップルロード)



木工ワークショップ企画(歩道)

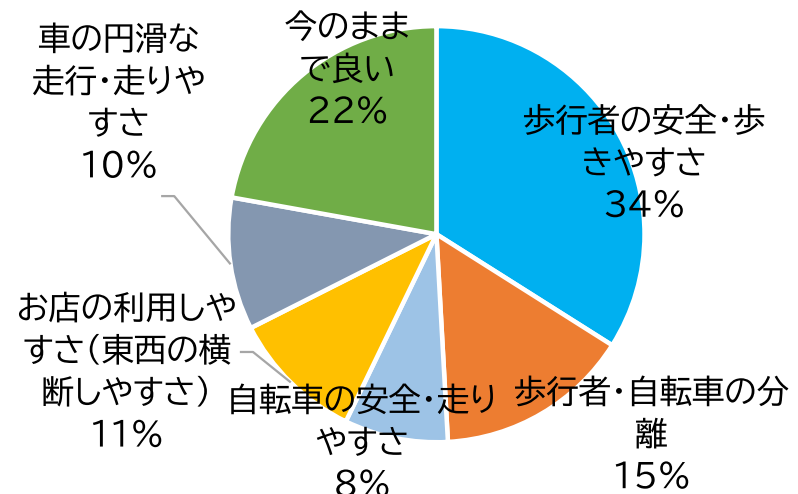
(3)賑わい創出社会実験

社会実験の結果

歩行者・自転車の安全を求める声

- 社会実験中に実施したアンケートにおいて「道路に求めること」を調査した。
- 歩行者の安全・歩きやすさ、歩行者・自転車の分離、自転車の安全・走りやすさなど、安全を求める回答が約6割と多かった。

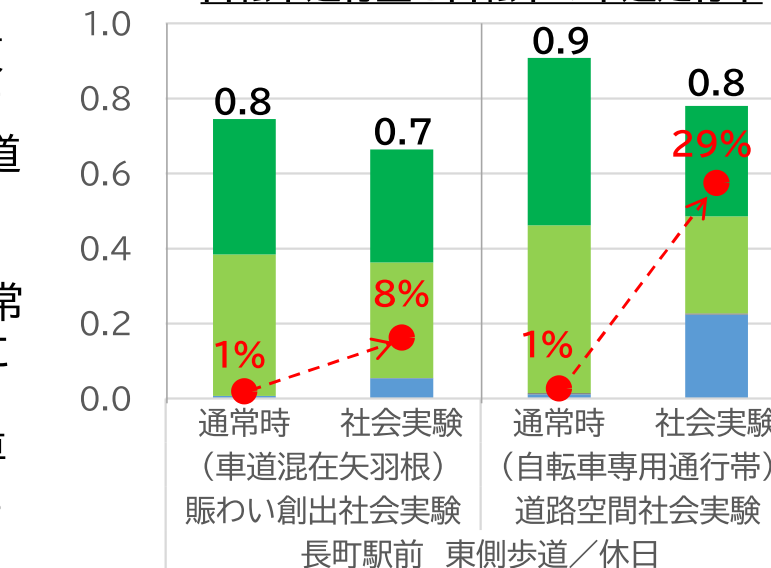
来場者・通行者アンケート(回答者数1,475名)
 <道路に求めること(最も当てはまるもの1つ)>



自転車の車道走行率の低さ

- 社会実験において長町駅前東側の歩道で企画が実施されされたことに伴い、自転車を歩道走行から車道走行に変更する矢羽根の仮整備を行った。
- 上記により、車道走行率は通常時と比べて7ポイントの上昇にとどまった。
- 道路空間社会実験で自転車専用通行帯を整備した際は、28ポイント上昇している。

長町駅前東側歩道(休日)の
 自転車通行量と自転車の車道走行率



矢羽根の仮整備と車道走行の状況

- 歩道走行(逆方向)
- 歩道走行(進行方向)
- 車道走行(逆方向)
- 車道走行(進行方向)
- 車道走行率(進行方向)